

ピアサポートの簡単な歴史

- ピアサポートがいつ始まったか、それはどのような個人が集まったグループだったか。

- ピアサポートの概念は、実は1935年のアルコールリクス・アノニマスの設立時に始まったといえる。

- アルコホーリクス・アノニマスは、中毒症状を経験しそしてそれを克服した個人は、同様のことをしようと努力している他人を手助けする上で、更に効果的であるという原理に基づいて運営されている。
- 我々もそこにかつていた、と知っている。

- 何年もたち、ピアサポートの概念も発展した。その概念は多様な環境、秩序、問題にも使われるようになった。

- ピアサポートの概念はアルコールクス・アノニマスで始まったが、ピアサポートと精神保健は何十年も我々の周りに存在していたことであった。

ピアサポートと精神保健

- 1937 - リカバリー協会
- 1940年代 - 「我々はひとりぼっちじゃない(WANA)」設立
- 1957 - オーストラリアでG.R.O.W.が作られる。
- 1983 - 気分障害協会が設立される。
- 1984 - オールタナティブズ大会(当事者の全国大会)が始まる。
- 1992 - 全国エンパワーメント・センターが作られる。
- 1990年代 - ウィスコンシン州はピアサポートや当事者運営のサービスに連邦精神保健一括奨励金を保留する。
- 2000年代 - ピアスペシャリスト運動が始まる。

ピアサポートと自助は同義語である。
る。

『自助とは、障害を持つ人々は、専門家では提供できない何かをお互いに提供しあえるという主義に基づいている。』

— クラーク協会 1997年 —

それはなぜか？

ピアサポートの一般的定義というものはない。

様々なピアサポート・プログラムがあるのと同様に、様々なピアサポートの定義がある。

しかし、ひとつ共通の要素はある。

- ピアサポートとは、精神障害の経験を持つ人々によって、精神障害の経験を持つ人々に施されることである。

ピアサポートはどれほど
有効か？

研究

- 精神保健に関する大統領の新しい「自由委員会」
- ピアサポートと当事者運営のサービスは新機軸の最善の手段だとみなされてはいるが、証拠に裏打ちされた手段とみなされるには、まだ十分な研究がなされていない。

- 最善の証拠とは...

- 当事者本人に聞いてください！！！！